

国道 49 号富田地区電線共同溝 P F I 事業

見積参考資料

令和 5 年 1 1 月

国土交通省東北地方整備局

見 積 参 考 資 料

工 事 名 令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務

この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所 管理課

見積参考資料（積算条件）

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務	（ 当 初 ）	主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称	積 算 条 件			
	補 正 項 目	条 件		
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（D I D補正）（1）－1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	I C T施工補正 週休2日の補正 被災地補正	補正しない 4週8休以上 補正する		

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝		式		1					
仮設工		式		1					
土留・仮締切工		式		1					
軽量鋼矢板(電線共同溝)	LSP-II型 L=2.0m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-2型 L=2.0m 腹起し・切梁賃料等 LSP-2型 L=2.0m	m 式 式	58.6 1 1	
軽量鋼矢板(電線共同溝)	LSP-II型 L=2.5m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-2型 L=2.5m 腹起し・切梁賃料等 LSP-2型 L=2.5m	m 式 式	417.8 1 1	
軽量鋼矢板(電線共同溝)	LSP-II型 L=3.0m	式		1		軽量鋼矢板設置・撤去 軽量鋼矢板賃料等 LSP-2型 L=3.0m 腹起し・切梁賃料等 LSP-2型 L=3.0m	m 式 式	39.5 1 1	
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		人日		600		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日 人日	200 400	
舗装版撤去工		式		1					
舗装版破砕工		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	アスファルト殻(歩道部)	m3		255		< 1 m3当り > 運搬(電線共同溝) 積載区分=アスファルト塊; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=10.5km以下;	m3	1	
殻処分	アスファルト殻(歩道部)	m3		255		< 100 m3当り > 処分費(t)	t	215	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	m		6,410		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 15cmを超え30cm以下	m		1,210		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装厚 15cm以下	m2		2,890		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込	m2	1	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装厚 15cmを超え35cm以下	m2		610		< 1 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削	土砂	m3		3,800		< 1 m3当り > 床掘り	m3	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
土砂等運搬	土砂	m3		3,780		< 1 m3当り > 運搬(電線共同溝) 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=2.0km以下;	m3	1	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締固め	発生土 土砂	m3		1,200		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=土砂;	m3	1	
埋戻し・締固め	良質土 中埋砂	m3		1,100		< 1 m3当り > 埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m3	1	
積込(ルーズ)	土砂	m3		1,300		< 1 m3当り > 積込(ルーズ) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m3	1	
土砂等運搬	土砂	m3		1,340		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=2.0km以下;	m3	1	
残土処理工		式		1					
整地		m3		2,400		< 1 m3当り > 整地 作業区分=残土受け入れ地での処理;	m3	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
土砂等運搬	土砂	m3		2,440		< 1 m3当り > 土砂等運搬 土砂等発生現場=標準; 積込機種・規格=バックホ山積0.8m3(平積0.6m3); 土質=土砂(岩塊・玉石混り土含む); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=8.5km以下;	m3	1	
積込(ルーズ)	土砂	m3		2,400		< 1 m3当り > 積込(ルーズ) 土質=土砂; 作業内容=土量50,000m3未満;	m3	1	
仮舗装工		式		1					
アスファルト舗装工 [車道・路肩部]		式		1					
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 200mm	m2		596		< 1 m2当り > 下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)=200 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整砕石 M-40 仕上り厚 150mm	m2		596		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=粒度調整砕石 M-40; 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理 仕上り厚 100mm	m2		596		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm超100mm以下)(実=100 mm; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50mm	m2		596		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
仮表層(車道・路肩部)	再生密粒度As(20T)) 舗装厚 50mm	m2		596		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工 [歩道部]		式		1					
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュ RC-4 0 仕上り厚 110mm	m2		2,750		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=110 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
仮表層(歩道部)	再生密粒度As(13T)) 舗装厚 30mm	m2		2,750		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 m m; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工 [第1種乗入部]		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 420mm	m2		37		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=420 mm; 施工区分=3層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
仮表層(歩道部)	再生密粒度As(13T) 舗装厚 30mm	m2		37		< 1 m2当り > 表層 (歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
アスファルト舗装工 [第2種乗入部]		式		1					
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 320mm	m2		21		< 1 m2当り > 下層路盤 (歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=320 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
仮表層(歩道部)	再生密粒度As(13T) 舗装厚 30mm	m2		21		< 1 m2当り > 表層 (歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=30 mm; 材料=各種(2.10以上2.20t/m3未満); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1	
仮区画線工		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
仮区画線	ペイント式 水性型 実線 15cm 常温 白色	m		570		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=無し; 施工方法区分=ペイント式水性型; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=実線15cm; 時間的制約の有無=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; ペイント式塗料規格=常温; 塗料区分=白; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路	角型FEP 径 130mm	m		13,659					
埋設管路	角型FEP 径 100mm	m		256					
埋設管路	通信用PV管 径 75mm	m		2,465					
埋設管路	通信用PV管 径 50mm	m		1,370					
埋設管路	フーアクセス管 (FA管)) VP 径 150mm	m		2,321					
埋設管路	BD管 径 200mm	m		1,784					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
埋設管路	BD管 径 200mm	m		86					
埋設表示シート	W=400mm 2倍	m		4,392					
埋設表示シート	W=600mm 2倍	m		808					
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					
プレキャストボックス	I型 (BOX型) 1200×1500×3300 歩道部	個		15					
プレキャストボックス	I型 (BOX型) 1200×1500×3300 車道部	個		2					
プレキャストボックス 街渠型	I型 (BOX型) 1200×1500×3300 歩道部	個		3					
プレキャストボックス 道路横断部 横断ブロック付	I型 (BOX型) 1200×1500×3300 歩道部	個		3					
プレキャストボックス 道路横断部 横断ブロック付	I型 (BOX型) 1200×1500×3300 車道部	個		1					
プレキャストボックス 地上機器2基	I型 (BOX型) 1200×1500×5000 歩道部	個		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス 地上機器3基	I型 (U型) 1200 ×1200×6000 歩 道部	個		1					
プレキャストボックス 地上機器1基	II型 電力 (BOX型) 1000×1500×2 200 歩道部	個		4					
プレキャストボックス 地上機器1基	II型 電力 (BOX型) 1000×1500×3 000 歩道部	個		6					
プレキャストボックス 躯体一部街渠下	I型 (BOX型) 120 0×1500×3300 歩 道部	個		2					
プレキャストボックス 地上機器2基	II型 電力 (BOX型) 1000×1500×50 00 歩道部	個		2					
プレキャストボックス 通信接続枿	500×1050×2000 歩道部	個		10					
プレキャストボックス 分岐枿	400×800×1000 歩道部	個		27					
プレキャストボックス 簡易トラフ	400×500×3000 歩道部	個		1					
蓋	铸铁蓋 φ750 歩 道部	組		18					
蓋	铸铁蓋 φ750 車 道部	組		2					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
蓋	角蓋(調整リグ H=150含む) 歩道部	組		5					
蓋	角蓋(調整リグ H=700含む) 歩道部	組		1					
蓋	角蓋(調整リグ、機器リグ H=250含む) 歩道部	組		1					
蓋	角蓋(調整リグ含まない) 歩道部	組		1					
蓋	角蓋(調整リグ含まない) 歩道部	組		4					
蓋	角蓋(調整リグ、機器リグ H=200含む) 歩道部	組		6					
蓋	角蓋(調整リグ、機器リグ H=300含む) 歩道部	組		2					
蓋	角蓋(調整リグ含まない) 歩道部	組		10					
蓋	角蓋(調整リグ含まない) 歩道部	組		27					
蓋	角蓋(調整リグ含まない) 歩道部	組		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
舗装工		式		1					
切削オーバーレイ工		式		1					
切削オーバーレイ 【夜間】	切削厚7cm以下 一層 段差すりつけ 無 密粒度As(20T) 改質Ⅱ型 舗装厚50mm	m2		13,540		< 1 m2当り > 切削オーバーレイ 平均切削深さ=7cm以下; 即日舗設の層数=一層; すりつけの区分=無; 舗装厚(一層目)(実数入力)=50 m m; アスファルト材料(一層目)=各種; 締固め後密度(一層目)(実数入力)=2.35 t/m3; 瀝青材料種類(一層目)=タックコート;	m 2	1	
殻運搬(路面切削) 【夜間】	アスファルト切削屑	m3		677		< 1 m3当り > 殻運搬(路面切削) DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=8.5km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m 3	1	
殻処分	アスファルト切削屑	m3		677		< 100 m3当り > 処分費 (t)	t	235	
アスファルト舗装工 [歩道部]		式		1					
表層(歩道部)	再生細粒度As(13) 舗装厚 40mm	m2		2,750		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下); 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m; 材料=再生細粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
アスファルト舗装工 [第1種乗入部]		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
基層(歩道部)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 100mm	m2				< 1 m2当り > 基層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
				37		基層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
表層(歩道部)	再生細粒度As(13) 舗装厚 50mm	m2				< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生細粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
				37					
アスファルト舗装工 [第2種乗入部]		式			1				
基層(歩道部)	再生粗粒度As(20) 舗装厚 50mm	m2				< 1 m2当り > 基層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
				21					
表層(歩道部)	再生細粒度As(13) 舗装厚 50mm	m2				< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生細粒度アスコン(13); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1	
				21					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
排水構造物工		式		1					
側溝工		式		1					
L型側溝 (撤去・再設置)	LS3-M-h250-T250					< 100 m当り > 【撤去】 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 【設置】 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類= 再生クラッシュ 40~0; 費用の内訳=全ての費用; 型枠 型枠の種類=一般型枠; 構造物の種類=均しコンクリート; コンクリート 構造物種別=小型構造物; 打設工法=人力打設; コンクリ ート規格=18-8-40(高炉); 養生工の種類=一般養生; 現場内小運搬の有無=無し; 費用の内訳=全ての費用 ; 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置; ブロック規格=B種(180/205×25 0×600); 基礎砕石規格=無し; 均し基礎コンクリート規格 =無し;	m	100	
		m		241			m ²	75	
							m ²	47	
							m ³	15.7	
							m	100	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
プレキャストU型側溝 (撤去・再設置)	US3-B400-H400	m		46		< 1 m当り > U型側溝 作業区分=再利用撤去・据付け; L=1000mm・L=4000mm・L=5000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=無し; U型側溝の種類=道路用鉄筋コンクリート側溝 3種 JIS A 5372; U型側溝の規格=400A 400×400×2000; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎砕石施工の有無=有り; 基礎砕石の種類=再生クワッパン 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.6 m3/10m;	m	1	
プレキャストU型側溝 (撤去・再設置)	US3-B500-H500	m		28		< 1 m当り > U型側溝 作業区分=再利用撤去・据付け; L=1000mm・L=4000mm・L=5000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=無し; U型側溝の種類=道路用鉄筋コンクリート側溝 3種 JIS A 5372; U型側溝の規格=500A 500×500×2000; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎砕石施工の有無=有り; 基礎砕石の種類=再生クワッパン 40～0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.7 m3/10m;	m	1	
側溝蓋 (撤去・再設置)	US3-B400 コンクリート蓋	枚		92		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=再利用撤去・据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=道路用鉄筋コンクリート側溝 3種 JIS A 5372; 蓋版の規格=400 51.2×11×50; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し;	枚	1	
側溝蓋 (撤去・再設置)	US3-B500 コンクリート蓋	枚		56		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=再利用撤去・据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=道路用鉄筋コンクリート側溝 3種 JIS A 5372; 蓋版の規格=500 62.2×12.5×50; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し;	枚	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
管渠工		式		1					
暗渠排水管 (撤去・再設置)	硬質塩化ビニル管 V Pφ150	m		55		< 1 m当り > 暗渠排水管 作業区分=据付・撤去; 管種別=直管; 呼び径=50～150mm; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
集水柵・マンホール工		式		1					
プレキャスト街渠柵 (撤去・再設置)	RHM グレーチング 蓋(T-25)含む	箇所		37		< 1 箇所当り > プレキャスト集水柵 作業区分=据付・撤去; 製品質量(kg/基)=200kgを超え400kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	基	1	
プレキャスト集水柵 (撤去・再設置)	SM-B500-L500-H700	箇所		1		プレキャスト集水柵 作業区分=据付・撤去; 製品質量(kg/基)=800kgを超え1200kg以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	基	1	
縁石工		式		1					
縁石工		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
歩車道境界ブロック (撤去・再設置)	B種 両面R	m		325		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置; ブロック規格=各種(600mm以下、50kg以上100kg未満); 基礎砕石規格=再生クラッシュラン RC-40; 均し基礎コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の有無=有り;	m	1	
地先境界ブロック (撤去・再設置)	A種 120×120	m		4		< 1 m当り > 地先境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 地先境界ブロック 作業区分=再利用設置; ブロック規格=A種(120×120×600); 基礎砕石規格=再生クラッシュラン RC-40; 均し基礎コンクリート規格=無し;	m	1	
中央分離帯ブロック (撤去・再設置)	B種 片面R	m		2		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック撤去 再利用区分=再利用; 歩車道境界ブロック 作業区分=再利用設置; ブロック規格=B種(180/205×250×600); 基礎砕石規格=再生クラッシュラン RC-40; 均し基礎コンクリート規格=18-8-40(高炉); 養生工の有無=有り;	m	1	
防護柵工		式		1					
路側防護柵工		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
ガードパイプ (撤去・再設置)	Gp-Cp-3E4	m		9		< 1 m当り > 防護柵設置工 (ガードパイプ設置工) 施工区分=土中建込; 規格仕様=Gp-Cp-2E 塗装品; 施工規模=20m未満; 夜間補正=無; 時間的制約を受ける場合の補正=無; 曲線部補正=無; 加算額=加算額無し;	m	1	
区画線工		式		1					
区画線工		式		1					
熔融式区画線 【夜間】	熔融式手動 実線 15cm 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		650		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=熔融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=実線 15cm; 時間的制約の有無=無し; 塗布厚=1.0mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; 熔融式塗料規格=含有量15～18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	
熔融式区画線 【夜間】	熔融式手動 破線 30cm 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		93		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り; 施工方法区分=熔融式手動; 豪雪補正の有無=無し; 規格・仕様区分=破線 30cm; 時間的制約の有無=無し; 塗布厚=1.0mm; 排水性舗装に施工する場合の補正=無し; 未供用区間の場合の補正=無し; 熔融式塗料規格=含有量15～18%; 塗料区分=白; プライマー規格=アスファルト舗装; 費用の内訳=全ての費用;	m	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
溶融式区画線 【夜間】	溶融式手動 ゼブラ 45cm 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		660		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=ゼブラ 45cm； 時間的制約の有無=無し； 塗布厚=1.0mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
溶融式区画線 【夜間】	溶融式手動 矢印・記号・文字 15cm換算 厚1.0mm 排水性舗装無 白色	m		450		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=溶融式手動； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=矢印・記号・文字 15cm換算； 時間的制約の有無=無し； 塗布厚=1.0mm； 排水性舗装に施工する場合の補正=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； 溶融式塗料規格=含有量15～18%； 塗料区分=白； プライマー規格=アスファルト舗装； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
ペイント式区画線 【夜間】	ペイント式 水性型 実線 15cm 加熱 白色	m		1,330		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=ペイント式水性型； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=実線 15cm； 時間的制約の有無=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； ペイント式塗料規格=加熱； 塗料区分=白； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	
ペイント式区画線 【夜間】	ペイント式 水性型 破線 15cm 加熱 白色	m		620		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り； 施工方法区分=ペイント式水性型； 豪雪補正の有無=無し； 規格・仕様区分=破線 15cm； 時間的制約の有無=無し； 未供用区間の場合の補正=無し； ペイント式塗料規格=加熱； 塗料区分=白； 費用の内訳=全ての費用；	m	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
ペイント式区画線 【夜間】	ペイント式 水性型 実線 15cm 常温 白色	m		1,780		< 1 m当り > 区画線設置 夜間作業の有無=有り；施工方法区分=ペイント式水性型；豪雪補正の有無=無し；規格・仕様区分=実線15cm；時間的制約の有無=無し；未供用区間の場合の補正=無し；ペイント式塗料規格=常温；塗料区分=白；費用の内訳=全ての費用；	m	1	
道路付属施設工		式		1					
道路付属物工		式		1					
視線誘導標 (撤去・再設置)	コンクリート建込(穿孔 含まない) 反射体 径φ100以下 支柱 径φ60.5	本		24		< 1 本当り > 道路付属物撤去工(視線誘導標) 施工区分=コンクリート建込；施工規模=10本以上30本未満；夜間作業の補正=無し；時間制約を受ける場合の補正=無し； 道路付属物設置工(視線誘導標設置) 施工区分=コンクリート建込(穿孔含まない)；材料費区分=手間のみ；反射体の種類=片面；規格・仕様=反射体径φ100以下 支柱径φ60.5；施工規模=10本以上30本未満；夜間作業の補正=無し；時間制約を受ける場合の補正=無し；	本	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
車線分離標 (撤去・再設置)	可変式(穿孔式・1本脚)	本		1		道路付属物撤去工(車線分離標) 施工区分=穿孔式(1本脚); 施工規模=10本未満; 夜間作業の補正=無; 時間制約を受ける場合の補正=無;	本	1	
		式		1		道路付属物設置工(車線分離標(ラバール)設置) 施工区分=可変式(穿孔式・1本脚); 材料費区分=手間のみ; 規格・仕様=本体(柱)径φ80 ベース径φ250 高さ650mm; 施工規模=10本未満; 夜間作業の補正=無; 時間制約を受ける場合の補正=無;	本	1	
構造物撤去工		式		1					
構造物取壊し工		式		1					
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工	m3		882		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物; 工法区分=機械施工; 時間的制約の有無=無し; 夜間作業の有無=無し; 低騒音・低振動対策=必要;	m3	1	
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 人力施工	m3		33		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物; 工法区分=人力施工; 時間的制約の有無=無し; 夜間作業の有無=無し;	m3	1	
舗装版破砕	アスファルト舗装版 舗装版厚 15cm以下	m2		6,360		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		915		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋)構造物とりこわし; 積込工法区分=機械積込; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有無)=10.9km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	
殻運搬	アスファルト殻	m3		337		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破碎; 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要); DID区間の有無=有り; 運搬距離(km)(DID区間有)=9.0km以下; 費用の内訳=全ての費用;	m3	1	
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		915		< 100 m3当り > 処分費(t)	t	235	
殻処分	アスファルト殻(車道部)	m3		113		< 100 m3当り > 処分費(t)	t	235	
殻処分	アスファルト殻(歩道部)	m3		225		< 100 m3当り > 処分費(t)	t	215	
仮設工		式		1					
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員		人日		60		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日 人日	20 40	

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
交通誘導警備員 【夜間作業】		人日		60		交通誘導警備員A 交通誘導警備員B	人日 人日	20 40	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
建設機械運搬費		台		2		< 1 台当り > 貨物自動車による運搬 (1車1回) 運搬区分=路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付) 2.0 m; 片道運搬距離(実数入力)=3.7 km; その他の諸料金の有無=無; 運搬中の賃料(損料)の有無=無;	台	1	
仮設材運搬費		t		80.1		< 1 t当り > 仮設材等(鋼矢板、H形鋼、覆工板、敷鉄板等)の運搬 発注機関区分=北海道・東北・北陸・中国・四国・九州; 片道運搬距離(実数入力)=3.6 km; 製品長区分=12m以内; 運搬割増率=各種(実数入力); 運搬割増率(実数入力)=0 無; その他の諸料金の有無=無; 仮設材等の積込み、取卸し費 作業区分=積込み、取卸し(往復分);	t t	2 1	
技術管理費		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路工事施設帳票作成費		式		1		技術員	人	1.75	
道路工事完成図作成費		式		1		道路工事完成図作成費 所定のデータを貸与できる L=1010m	式	1	
現場環境改善費 (率計上)		式		1		市街地補正=市街地			
共通仮設費 (率計上)		式		1		施工地域補正=市街地 (D I D補正) (1) - 1; 除雪工補正=補正無; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=4週8休以上			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地 (D I D補正) (1) - 1; 緊急工事補正=しない; 砂防・地滑り工事補正=しない; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=4週8休以上			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					

見積参考資料

工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象		管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする		管理費区分5 一般管理費等対象		管理費区分7 間接労務費対象労務費		
						○：該当する管理費区分が含まれている			
工事名	令和5～34年度 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				事業区分	共同溝・電線共同溝			
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
殻処分	アスファルト殻	m3	255	○					
殻処分	アスファルト殻	m3	677	○					
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3	915	○					
殻処分	アスファルト殻	m3	113	○					
殻処分	アスファルト殻	m3	225	○					
道路工事完成図作成費		式	1					○	

数量総括表

業務名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調査・設計業務

郡山国道事務所 管理課

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調査・設計業務				業種項目	設計業務 地下構造物設計
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
地下構造物設計		式		1		
電線共同溝設計		式		1		
電線共同溝修正設計		式		1		
電線共同溝修正設計		(箇所)式		(1)1		設計計画, 現地踏査, 設計条件の整理・検討, 平面・縦断線形設計, 数量計算, 管路部設計, 特殊部設計, 地上機器部設計, 施工計画, 関係機関との協議用資料作成, 照査, 報告書作成
共通		式		1		
共通 (設計業務)		式		1		
打合せ等		式		1		
打合せ		式		1		
関係機関打合せ協議		式		1		
その他		式		1		

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調査・設計業務				業種項目	設計業務共通
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
照査技術者による報告		回		1		
公開成果品作成		式		1		
公開成果品作成		業務		1		
直接経費		式		1		
直接経費		式		1		
電子成果品作成費		式		1		
電子成果品作成費		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		

参考資料
国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業
調査・設計業務

本参考資料は、現場説明参加業者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

1. 設計業務

1. 電線共同溝修正設計 N = 1 箇所

本業務は過年度の設計業務を基に比較検討を行い、元の設計業務に対する修正設計を行うものとする。「電線共同溝修正設計」は、下記のとおり計上しております。

項目	1 箇所当たりの編成 (単位: 人)							摘要
	主任技術者	理事、技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
設計計画		1.05	1.05	1.05	1.05	0.525		電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
現地踏査			0.525	1.575	1.05	0.525		電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
設計条件の整理・検討			1.575	1.05	1.575	0.525	1.05	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
平面・縦断線形設計			1.05	2.1	3.15	3.15	3.675	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
数量計算				1.575	3.15	3.675	5.25	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
管路部設計				1.575	2.625	2.625	3.675	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
特殊部設計				2.625	2.625	2.625	4.725	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
地上機器部設計				2.1	2.1	2.1	1.575	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
施工計画			1.05	1.05	1.575	0.525		電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
関係機関との協議用資料作成			1.05	1.05	2.625	1.575	1.575	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
照査			1.05	1.575	3.15	3.15		電子計算機使用料 (直接人件費の2%)
報告書作成			1.05	2.1	2.625	0.525	2.1	電子計算機使用料 (直接人件費の2%)

2. 打合せ回数、関係機関打合せ機関数及び編成

打合せは、設計業務等標準積算基準書（令和5年度版）の第3編第2章第1節1-1「打合せ等」により、下表のとおり計上しております。

関係機関数は、7機関を見込んでおります。

実施時期	回数	1回当たりの編成（単位：人）		
		主任技師	技師（A）	技師（B）
事業着手時	1	0.5	0.5	0.5
中間打合せ	7	0.5	0.5	0.5
成果品納入時	1	0.5	0.5	0.5

数量総括表

業務名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（
設計段階）

郡山国道事務所 管理課

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（設計段階）				業種項目	設計業務 道路設計
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
設計マネジメント		式		1		
設計マネジメント		式		1		
業務計画		式		1		
設計管理		式		1		
監理業務		式		1		
共通		式		1		
共通（設計業務）		式		1		
打合せ等		式		1		
打合せ		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（設計段階）				業種項目	設計業務 その他原価
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

参考資料
国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務
(設計段階)

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

1. 業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

1 業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師 (A)	

2. 設計管理

設計管理は以下を見込んでいます。

対象業務数：1 業務

1 業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
設計管理	人	0.4	技師 (A)	

3. 監理業務

監理業務は以下を見込んでいます。

工事期間：12 ヶ月

1 ヶ月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
指揮・監督	人日	0.55	技師 (A)	
担当技術者	式	1.0	技師 (C)	事業監理、調査・設計

・担当技術者 ((19.5 日/月) × 2) 日 × 12 ヶ月

4. 打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

工事期間：12 ヶ月

1 月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師 (A)	移動時間を含む。2 回/月を標準とする。

数量総括表

業務名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（
工事段階）

郡山国道事務所 管理課

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（工事段階）				業種項目	設計業務 道路設計
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
工事マネジメント		式		1		
工事マネジメント		式		1		
業務計画		式		1		
工事管理		式		1		
監理業務		式		1		
共通		式		1		
共通（設計業務）		式		1		
打合せ等		式		1		
打合せ		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務 (工事段階)				業種項目	設計業務 その他原価
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

参考資料
国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務
(工事段階)

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

1. 業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

1 業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師 (A)	

2. 工事管理

工事管理は以下を見込んでいます。

対象業務数：6 工事

1 工事あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
工事管理	人	0.4	技師 (A)	

3. 監理業務

監理業務は以下を見込んでいます。

工事期間：72 ヶ月

1 ヶ月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
指揮・監督	人日	0.55	技師 (A)	
担当技術者	式	1.0	技師 (C)	事業監理、施工監理

・担当技術者 (19.5 日/月×2) 日×72 ヶ月

4. 打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

工事期間：72 ヶ月

1 月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師 (A)	移動時間を含む。2 回/月を標準とする。

数量総括表

業務名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事監理業務

郡山国道事務所 管理課

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事監理業務				業種項目	設計業務 道路設計
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
工事監理		式		1		
工事監理		式		1		
業務計画		式		1		
工事管理		式		1		
工事監督		式		1		
共通		式		1		
共通 (設計業務)		式		1		
打合せ等		式		1		
打合せ		式		1		
直接原価 (その他原価除く)		式		1		

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 工事監理業務				業種 項目	設計業務 その他原価
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

参考資料
国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業
工事監理業務

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

1. 業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

1 業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師 (A)	

2. 工事管理

工事管理は以下を見込んでいます。

対象工事数：6 工事

1 工事あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
工事監理	人	0.4	技師 (A)	

3. 工事監督

工事監督は以下を見込んでいます。

工事期間：72 ヶ月

1 ヶ月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
指揮・監督	人日	0.55	技師 (A)	
担当技術者	式	1.0	技師 (C)	

・担当技術者 ((19.5 日/月 + 超勤(30h)) × 1) 日 × 72 ヶ月
 ※超過時間あたり標準単価は、設計業務等積算基準に準じ、深夜以外の時間帯としています。

4. 打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

工事期間：72 ヶ月

1 月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師 (A)	移動時間を含む。2 回/月を標準とする。

業 務 数 量 総 括 表

業 務 名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その1：定期点検）

国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所 管理課

業務数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その1：定期点検）				（ 当 初 ）	事業区分	電気通信施設点検
費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	業務区分 点検業務	
点検業務		式		1			
直接費		式		1			
労務費		式		1			
総合・個別点検(12ヶ月点検)		回		4			
直接経費		式		1			
旅費交通費		式		1			
安全費		式		1			
技術管理費		式		1			
技術管理費		式		1			
諸経費		式		1			
諸経費		式		1			

業務数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その1：定期点検）				（ 当 初 ）	事業区分	電気通信施設点検
						業務区分	点検業務
費目・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
業務価格		式		1			
消費税相当額		式		1			
業務費計		式		1			

見 積 参 考 資 料

業 務 名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その1：定期点検）

この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所 管理課

見積参考資料

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務 (その1: 定期点検) (当初)					事業区分	電気通信施設点検		
						業務区分	点検業務		
費目・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
点検業務		式		1					
直接費		式		1					
労務費		式		1					
総合・個別点検(12ヶ月点検)		回		4		< 1 回当たり > (個別) 低圧設備 点検周期=12ヶ月; 旅費交通費区分=積上(日々通勤); 乗算補正=なし; マンホール(ハンドホール)=あり;	ヶ所	21	
直接経費		式		1					
旅費交通費		式		1		総合・個別点検(12ヶ月点検)旅費交通費	回	4	
安全費		式		1		安全費(率分) 交通誘導警備員A	式 人	1 4	
技術管理費		式		1					
技術管理費		式		1		技術管理費(率分)	式	1	
諸経費		式		1					

見積参考資料

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務 (その1: 定期点検) (当 初)					事業区分	電気通信施設点検		
						業務区分	点検業務		
費目・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
諸経費		式		1					
業務価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
業務費計		式		1					

工 事 数 量 総 括 表

工 事 名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その2：通常巡回）

国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所 管理課

工事数量総括表

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その2：通常巡回）	（ 当 初 ）	工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要
道路維持		式		1		
巡視・巡回工		式		1		
巡回工		式		1		
通常巡回		回		22		
直接経費		日		22		
直接工事費		式		1		
共通仮設費		式		1		
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		

工事数量総括表

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その2：通常 巡回）				（ 当 初 ）	工種区分	道路維持工事
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量（前回）	数量（今回）	数量増減	摘要	
一般管理費等		式		1			
工事価格		式		1			
消費税相当額		式		1			
工事費計		式		1			

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その2：通常巡回）

この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所 管理課

見積参考資料（積算条件）

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務（その2：通常巡回）		（当初）	主たる工種	道路維持工事
間 接 費 名 称		積 算 条 件			
		補 正 項 目		条 件	
共通仮設費（率計上）		施工地域補正 除雪工事補正		補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合） 補正無し	
現場管理費		施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正		補正無し（地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合） 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない	
一般管理費等		財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正		補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合	
その他		ICT施工補正 週休2日の補正		補正しない 補正しない	

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務 (その2:通常巡回) (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路維持		式		1					
巡視・巡回工		式		1					
巡回工		式		1					
通常巡回		回		22		< 1 回当たり > 通常巡回	回	1	
直接経費		日		22		< 1 日当たり > ライトバン 排気量1500CC定員5名	時間	0.4	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費 (率計上)		式		1		施工地域補正=補正無し (地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合) ; 除雪工補正=補正無し; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=しない			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=補正無し (地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合) ; 緊急工事補正=しない; 砂防・地滑り工事補正=しない; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=しない			

見積参考資料

工事名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 点検業務 (その2:通常巡回) (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

参考資料
国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業
点検業務
(その2：通常巡回)

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

1. 通常巡回

通常巡回は以下を見込んでいます。

なお、基地を郡山市役所とし現地までのライトバンでの往復を見込んでいます。

巡回回数：1回／年

1回あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
通常巡回	人	0.65	土木一般世話役	維持管理期間：22年

数量総括表

業務名 国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（
維持管理段階）

郡山国道事務所 管理課

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（維持管理段階）				業種項目	設計業務 道路設計
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
道路設計		式		1		
工事マネジメント		式		1		
工事マネジメント		式		1		
業務計画		式		1		
工事管理		式		1		
監理業務		式		1		
共通		式		1		
共通（設計業務）		式		1		
打合せ等		式		1		
打合せ		式		1		
直接原価（その他原価除く）		式		1		

数量総括表

業務名	国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務 (維持管理段階)				業種項目	設計業務 その他原価
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
その他原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
業務価格		式		1		
消費税相当額		式		1		
業務委託料		式		1		

参考資料
国道49号 富田地区電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務
(維持管理段階)

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積もりに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

1. 業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

1 業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師 (A)	

2. 工事管理

工事管理は以下を見込んでいます。

対象業務数：7 工事

1 工事あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
工事管理	人	0.4	技師 (A)	

3. 監理業務

監理業務は以下を見込んでいます。

工事期間：44 ヶ月

1 ヶ月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
指揮・監督	人日	0.55	技師 (A)	
担当技術者	式	1.0	技師 (C)	

・担当技術者 (19.5 日/月×1) 日×44 ヶ月

4. 打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

工事期間：44 ヶ月

1 月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師 (A)	移動時間を含む。2 回/月を標準とする。